

ペットの特徴が分かる写真



例 (例)

名前			年誕生
ペット動物	犬・ねこ・その他()		
犬種・ねこ種 その他動物種		体色	
性別	おす・めす【不妊/去勢手術: 済・未】		
登録番号 (犬の場合)	大きさ (体重)	大・中・小 (kg)	
マイクロチップ	有 無		
その他特徴			

ペットが複数いる場合はこのページをコピーして写真添付、必要事項記入後、のりしろ部分に貼り付けてください。

動物のための持ち出す物リスト check!

第一優先物品

- 最低5日分のフード、水
- 必要な薬、療法食
- 食器
- 予備の首輪、リード
- ケージ(ケガ・逃走防止のため、移動時や、避難時に使用)



第二優先物品

- 豊橋市ペット防災手帳
- ワクチン接種状況



第三優先物品

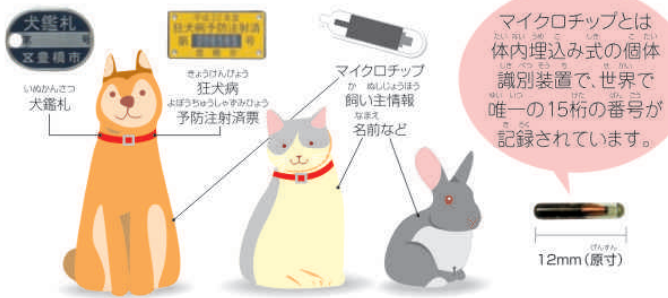
- ペットシート
 - 排泄物の処理用具
 - タオル
 - ガムテープ(ケージの補修等多用途に使用可)
 - 洗濯ネット(ねこの逃走防止)
 - ねこ砂等、トイレ用品
 - (ダンボール、ビニール袋、ちぎった新聞紙で代用可)
 - カラビナ
- 例: リードの輪っかの部分に付けると、犬をつなぐこともできます。



鑑札・迷子札をつけましょう

災害時の混乱の中ではペットもパニックになり、迷子になるかもしれません。室内飼いの犬やねこにも、常に首輪をつけましょう。

- ① 犬の場合、鑑札・注射済票を首輪につけましょう!
- ② マイクロチップを装着しましょう!



鑑札・狂犬病予防注射済票は首輪に付けることが義務付けられていますが、長い間放浪しているとやせて首輪が外れてしまうこともあります。鑑札・注射済票とマイクロチップの併用が効果的です。

- ※チップ埋込みは動物病院でできます(有料)。
- ※チップを読み取るリーダーは保健所などにあります。

おすすめ

携帯電話にペットの写真を保存しておく、ポスター作成や飼い主の証明に使えます。



基本的なしつけで 家族の一員から社会の一員へ

避難所では、大勢の人や見知らぬ動物と一緒に集団生活になります(ペットは基本的に避難所内に入れることはできません)。動物を嫌いな人や、アレルギーを持つ人もいます。他の人に迷惑にならないように普段から基本的なしつけをしておきましょう。これは周りの人のためであると同時に、ペット自身のストレスを減らすことにつながります。

- 「おいで」「おすわり」「まで」(どんなときでも呼べば必ず来るようにしておけば、ペットと離れ離れになる可能性を低くします)
- 人や他の動物を怖がったり、攻撃的にさせない
- 不必要に鳴かせない
- 決められた場所での排泄
- ケージに慣れさせる

(中でエサを与える、いつも使っている毛布を敷くなど、ケージに良い印象を持たせて少しずつ慣らしていき、初めての場所でも落ち着ける居場所を作ってあげましょう)

